



田尻町議会だより

# たじりの風

8618人

Vol.121

令和元(2019)年  
11月1日発行

■発行／大阪府田尻町議会 ■編集／議会広報委員会 大阪府泉南郡田尻町嘉祥寺375番地1 電話 072-466-5000



## 主な内容

- ★ 一般質問 ..... 2 頁
- ★ 委員会報告 ..... 7 頁
- ★ 大阪府町村議長会議員セミナー ..... 9 頁
- ★ 審議結果・12月議会の日程 ..... 9 頁
- ★ 災害対策特別委員会・施設見学 ..... 10頁

# 一般質問

- 金田 裕治 議員 1. 総合的な入札制度について
- 坂口 実 議員 1. 「たじり子どもの安全見まもり隊」見守り地点の安全強化について
- 吉開 育子 議員 1. すべてのがん検診の無料化を求める  
2. 30ℓゴミ袋の作成を求める  
3. 消費税増税にかかわらず、有料ゴミ袋や水道、各種手数料など公共料金の据え置きを
- 小川 雄司 議員 1. 保育所ゼロ～2歳児の保育料の無料化を  
2. 陳情・請願の折の町長面談について  
3. 初乗り運賃を助成する福祉タクシーの導入を
- 東 小夜子 議員 1. 給食費の無償化について  
2. 下水道について
- 原 明美 議員 1. 戦没者の墓について  
2. 片地域などにおける洪水対策について
- 中川 達夫 議員 1. 田尻町の空き家対策の進捗状況を問う  
2. 歴史館の活用を問う

※この一般質問の内容は、各議員の責任のもと記載しております。



金田 裕治 議員

**問** 入札制度について、価格よりもソフト分野の重視を

**答** 価格は全体の50%までの割合にしている

**問** 一部の入札においてはプロポーザルを実施しているが、金銭面の割合が大きいのではないか。価格よりも計画性などのソフト分野の割合が高いプロポーザルを実施してはどうか。

**答** 総務課長 価格評価については、全体の5割までの配点基準となっている。

**問** 短い年数での契約では、雇用が不安定でありいい人が集まりにくいのでは。

**答** 社会教育課長 指定管理者制度は5年ごとなので、どうしてもそのような状況になりがちである。だが、民間活力を活用した管理を進めていきたい。





坂口 実 議員

## 問 子ども見守り地点の安全強化を

### 答 安全上対策が必要な箇所と認識する

**問** 平成29年9月より、公民館横田尻橋大阪側のE地点が地区連合会をはじめ各種団体の合意のもと、新たに追加された。先日見守り活動をされている方から朝の交通量が多く車両の通過速度も速く、恐怖心を抱かれているとお聞きした。

については、道路管理者である田尻町及び大阪府へ、交通安全及び見守り隊員の安全確保を求め、早急な対策を要望する。

**答** **都市政策課長** その箇所は、通勤時泉南市方面から臨海線へ抜ける道として利用されており、

公民館前の坂道で加速する車両もあると聞いている。町として交通安全上対策が必要な箇所と認識している。旧街道の道路管理者は大阪府であるため、昨年度から大阪府に対応を要望しており、大阪府も対策の必要性は認識している。町として引き続き大阪府に強く要望していく。なお昨年度より各学期の初日の見守り活動の際に警官も立ち会い、重点的なパトロールを町から要請している。

**問** 旧街道の樫井川には、車道と歩道の橋が別にある。海側に歩行者専用の橋が架かっている。当該箇所の田尻川に現状の旧街道の車道と分離した歩行者用の橋を、山側に架けるようなことは考えられないか。現状の民地も調整し易い。安心安全なまちづくりを総合計画で目指していただきたい。

**答** **都市政策課長** 田尻川に橋を架けるとなると非常に大きな話であるが、大阪府に求めていきたい。



吉開 育子 議員

## 問 がん検診の無料化を

### 答 自己負担が大事

**問** 田尻町のがん検診は、肺がん、大腸がんが無料だが、胃がん600円、乳がん1,000円、子宮頸がん500円と有料である。シングルマザーが検診に行くには仕事を休まざるをえず、日給が無くなる。誰もがお金心配なく、がん検診を受けられるようにするために無料化を求める。府内では、箕面市、八尾市、高槻市、柏原市、富田林市、堺市、太子町、千早赤阪村が無料で実施している。

**答** **町長** 無料化している自治体と比べて田尻町は受診率が高いので、無料化したから受診率向上とはならない。

**答** **健康課長** 個人の疾病予防のことでもあるの

で自己負担を一定の割合でしていただくことが大事と考えている。

## 問 30ℓ有料ゴミ袋の新設を

### 答 今の体制でいく

**問** 栗山町政が30ℓゴミ袋をつくらない理由が「20ℓで入りきれない場合は10ℓを使って」というもので納得できない。ゴミ袋代の節約になり、ゴミ減量化の意欲を高めることになる30ℓ袋の新設を求める。

**答** **町長** 10ℓ、20ℓ、50ℓで分別、減量化ができていていると思っている。今の体制の中でしっかりと対応していただきたい。

**答** **生活環境課長** 30ℓ指定袋の作成は考えていない。ゴミ袋の有料化以降はゴミが減少し続けたが、その後は増化傾向が続いておりさらに減量化を図らなければならないと考えている。20ℓ袋の中に、リサイクル可能なゴミが入ってないか調べて欲しい。





小川 雄司 議員

**問** 保育所入所のすべての0～2歳児の保育料の無償化を

**答** すべて無償化については、すぐにはできない

**問** 10月から実施する0～2歳児の保育料の無償化を非課税世帯に限るのは、不公平である。今年3月議会で吉開議員の質問に対して、町当局は、あらたな保育ニーズを引き出して待機児童を増やし、保育所の運営が立ち行かなくなる恐れもあるなどと答弁した。しかしすでに4歳児は保育ニーズを高め、広域入所も含め入所児童が増えている。0～2歳児すべての入所児童を無償化することで保育ニーズが高まったとしても広域保育もあわせて対応すれば、入所可能ではないか。

**答** **町長** すべて無償化については、保育士不

足が起こる可能性があり、すぐにはできない。

**問** 町長宛ての陳情は、町長が直接面談を

**答** 今後もケースバイケースで判断する

**問** 0～2歳児の保護者を中心に町長宛てに「すべての0～2歳児の保育料の無償化を」の陳情署名約80名分を集め、代表者が提出するにあたり、栗山町長に面談を求めたが、実現しなかったと聞いている。今後、陳情・請願においては、憲法第16条が定める請願権を広く認め、面談を求められたら、どなたに限らず、どんな要望に限らず、不当・反社会的なものを除き、町長が事務職員を伴い、直接面談されることを求める。

**答** **町長** いろんな方がおられるが、決してブロックしているわけではない。今後もケースバイケースで判断させていただく。



東 小夜子 議員

**問** こころ園の給食費無償化への進捗状況は

**答** 本年10月より実施する

**問** 公明党として強く訴えてきたこころ園等の給食費無償化への進捗状況は。

**答** **こども課長** 3歳から5歳で児童発達支援事業所に通う児童の給食費と、あわせて広域入所での町外の保育所等に通う児童及び私立幼稚園に通う児童の給食費は、本年10月より無償化を実施する。

**問** 用水路や下水道への転落防止策は

**答** 速やかに対応していく

**問** 清水川のゲートは柵もなく危険である。転落防止のための安全対策は考えているのか。

**答** **町長** 大きな事故につながらないように危険な箇所が見つかり次第、速やかに対応していく。





原 明美 議員

### 問 戦没者の墓の改修計画はあるか

答 町として改修の計画はない

問 この墓は昭和25年12月田尻村村民有志という形で建てられている。当時の行政と個人がお金をだしあって建てられたそうである。墓は個人で修復するとしても、柵石はどうか。

答 民生部長 墓石、柵石含めて遺族と話し合っていきたい。



### 問 樫井川江永橋付近における洪水対策は

答 下水道計画に沿った排水方法を検討している

問 樫井川江永橋付近に3.5m以上の高潮が押し寄せてきた場合、多くの住宅が浸水の可能性がある。近年の気象の変化を考慮すると、この付近に排水機を設置する必要があると思うが、どのように考えているか。

答 下水道課長 排水機の設置の方向もあるが、現時点では下水道計画に基づく浸水対策事業の推進を行いたいと考えている。



中川 達夫 議員

### 問 空き家対策の進捗状況は

答 特定空き家等の判断基準を定めた

問 本年3月議会での答弁では、今年度中に空き家対策計画を策定することであった。進捗状況、中間報告をもとめる。又、現在空き家近隣住民の不安解消対策は取っているのか。

答 都市政策課長 3月に田尻町空き家対策計画の策定を行い、6月に審議会（専門職、福祉、住民代表等7名で構成）を開催し田尻町に見合った空き家対策の支援制度など意見を聞き、検討していく。現在74戸の空き家のうち6戸が危険な特定空き家がありうち3戸が既に撤去されている。空き家の所有者に対して解決策を提案し打開策を見出していく。

### 問 歴史館の活用を

答 町民の意見を聞き検討する

問 本年6月議会で3億円強の工事請負契約が可決された。町民が納得する活用計画を考えているのか。

答 社会教育課長 令和4年度に工事が完了し、町の文化の向上及び住民福祉の増進を図る施設として町民の意見を聞きながら検討を進める。指定管理者制度による提案内容も踏まえ、歴史館の利活用を図っていく。各自治体にも文化財を活用し、成功例が多数あるので研究していく。

# 委員会報告

## 総務建設常任委員会

委員長 坂口 実

審査結果並びに経過報告 (9月9日開催)

- ◎田尻町一般職の職員の給与に関する条例及び田尻町職員退職手当に関する条例一部改正の件  
(条例の一部改正) 【全会一致で可決】

**問** 法律の改正に伴い、成年被後見人等であることを理由に不当に差別されることのないよう、成年被後見人等に係る欠格条項その他の権利の制限に係る措置の適正化を図るということが改正理由だが、具体的にはどのような内容か。

**答** 地方公務員法第16条第1号は、成年被後見人または被保佐人が地方公務員になること、また、その採用試験を受けることもできないと定めていたが、今回の法改正によりその規定が削除されたため、それに伴う条例改正である。

- ◎田尻町消防団条例一部改正の件  
(条例の一部改正) 【全会一致で可決】

- ◎令和元年度田尻町一般会計補正予算(第3号)の件  
(3億9,999万4千円の増額) 【全会一致で可決】

**問** たじりっちバス停留所へ2か所木製ベンチを設置する費用が計上されているが、なぜ、町内9か所の全バス停留所に置かないのか。

**答** ベンチ設置には、歩道形態やベンチを置いた残りの幅員が2メートル以上必要となる等設置のための条件があり、その条件に満たない停留所には、置くことができない。

## 文教厚生常任委員会

委員長 仁部 順行

審査結果並びに経過報告 (9月10日開催)

- ◎田尻町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例一部改正の件  
(条例の一部改正) 【全会一致で可決】

**問** 私立幼稚園に通園している人数は。

**答** 9月1日現在、私立幼稚園に通っている児童の数は3歳から5歳で22名である。

- ◎田尻町印鑑条例一部改正の件  
(条例の一部改正) 【全会一致で可決】

**問** 印鑑登録の申請時に旧氏表記の申し出ができ

るのか。

**答** 旧氏を使用する場合は、事前に戸籍謄本等での登録が必要である。

- ◎田尻町災害弔慰金の支給等に関する条例一部改正の件  
(条例の一部改正) 【全会一致で可決】

**問** 保証人をたてない場合の利率を、年3%から1%に改正するものだが、1%という数字の根拠は何か。

**答** 災害は、広域的な考え方や福祉的要素も含むことから、近隣自治体を参考に、あまり乖離しないよう1%とした。

- ◎田尻町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例一部改正の件  
(条例の一部改正) 【賛成3、反対1で可決】

**問** 課税世帯の0歳から2歳児の給食費は実費徴収となるのか。

**答** これまでと変わらず、給食費は保育料に含まれている。別途、実費徴収はしない。

**反対討論** 保育料無償化は、消費税増税とセットである。また、0歳～2歳児の保育料無償化の対象は、非課税世帯に限られているが、課税世帯も無償化すべきと考える。条例改正しても、田尻町は今も実費徴収はしないということだが、条例改正をすれば、実費徴収も可能となるので、この改正には反対する。

- ◎田尻町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担等に関する条例一部改正の件  
(条例の一部改正) 【全会一致で可決】

**問** 今回の文言修正の趣旨は。

**答** 子ども・子育て支援法の改正により、これまで「支給認定」と表現していたものを、「教育・保育給付認定」と改めるものである。

- ◎令和元年度田尻町一般会計補正予算(第3号)の件  
(3億9,999万4千円の増額) 【全会一致で可決】

**問** 子ども・子育て支援臨時交付金は今年度だけのものか。

**答** 来年度以降はそれぞれの事業メニューとして、その負担割合に応じて交付される。

- ◎令和元年度田尻町国民健康保険特別会計(事業勘定)補正予算(第1号)の件  
(1,599万7千円の増額) 【全会一致で可決】

**問** 平成30年度の決算額が確定し、黒字であり、基金に約1600万円積み立てを行うが、そのような基金を使って保険料の値下げの努力を行わないのか。



**答** 令和6年度からは大阪府国保運営方針に基づき府内統一料金となるため、令和5年度までに徐々に標準保険料率に近づけていきたい。

◎令和元年度田尻町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）の件  
（20万2千円の増額） 【全会一致で可決】

◎令和元年度田尻町介護保険特別会計補正予算（第2号）の件  
（2,362万1千円の増額） 【全会一致で可決】

**問** 平成30年度の決算の確定により、基金に約2000万円の積み立てを行うものであるが、黒字であるのだから、介護保険料の引き下げとはならないのか。

**答** 介護保険会計は、計画期間である三カ年で収支を見ていくものであり、3年の計画期間が終わらないと、黒字か否かは判断できない。

## 決算特別委員会

委員長 坂口 実

審査結果並びに経過報告（9月12日開催）

◎平成30年度田尻町一般会計決算認定の件  
【全会一致で可決】

### 歳入

**問** 栗山町長が打ち出した3年間の10%減税は今年度で終了するが、これは今後も継続するのか。またこの減税を知らない方も結構いるが、町民の意識調査や効果検証などを行う予定はあるのか。

**答** 三世同居、定住促進事業の受給者に対して、10%減税についてのアンケートを行った。現在集計し、内容を吟味している途中である。

**問** 調査対象、件数が少なかったのでは。調査対象は何件あったか。また、アンケート結果については情報公開の対象になるのか。

**答** アンケート調査の対象者は140～150件であった。内容は情報公開の対象になるので、申請いただければ公開する。

### 歳出

#### 総務費

**問** 三世同居・近居助成金については予算額500万円のところ、決算額は130万円、6件あるが、今年度はどのような状況か。

**答** 31年度はまだ事業期間中であり、数値も確定していないが、今のところ30年度に比べると若干増加している。

**問** 防犯カメラは全部で何機ほどあるのか。また、今後の設置予定数は決まっているのか。

**答** 現在33か所、59台である。地区会からの要望等をお聞きし、一応設置は終了したと考えている

が、今後、警察の要望等があった場合などは検討してまいりたい。

### 民生費

**問** ふれ愛センターの施設改善基本調査業務委託料として324万円が挙がっているが、どうゆう業務内容なのか。

**答** ふれ愛センター2階部分の有効活用に関する調査である。床や壁など構造上改修が可能な場所を調べたり、施設の利用予測、市場調査、アンケート調査をしてもらった。また、事業メニューの案の検討や、ランニングコスト、概算事業費の作成などもやっていただいた。

**問** 事業メニュー案については、内容は固まってきたのか。

**答** 施設整備、ランニングコストともかなりの費用がかかる。できるだけ多くの住民さんに利用してもらえ形にするには、一足飛びに事業を開始することは好ましくない。現在、単発の健康づくり教室等を実施し、アンケート調査をしながらどういった事業なら参加してもらえるか、本当に必要な事業は何か等を、住民さんの意見をききながら検討中である。

### 農林水産業費

**問** 田尻町漁業振興補助金のおおまかな内訳は。

**答** 29年度に漁業組合が国の農泊推進対策として農村漁村振興交付金を受け、パーベキューコーナーの新築を行った。その事業費は4,000万円ほどであったが、町がその事業に対して、30年度に400万円の補助を上乗せしたものである。内訳としては、当該事業（かき小屋）運営に係る消耗品や看板等の設置費、広告の掲載料等である。

**問** 朝市に対しての補助は入っていないのか。農家さんが朝市に出店しようとするればブース料等、かなりハードルが高いときいている。要望ではあるまく活用し、ブースを提供して田尻町の農家さんが出店しやすいような場をつくっていただきたい。

**答** 観光協会と話し合い、今後検討していきたい。

### 消防費

**問** 災害からの復旧、復興関連の支出として、台風21号関連委託料1,066万円とあるが、これの内訳は。

**答** 大分を占めているのが災害廃棄物収集運搬業務委託関連の委託料である。うち、災害廃棄物の収集運搬と、その処分の業務委託料の合計が900万1,075円となっている。

**問** 地方自治体によって収集体制に遅い、速いがあったと聞く中、田尻町の場合は割と早く展開できたのではないかと思う。その辺で何か教訓があったか。

**問** 本町の場合、仮置き場に少し苦勞した。現在災害廃棄物処理基本計画の策定準備を進めているが、そういったことも踏まえて計画書を作成したいと考えている。

**教育費**

**問** 教育指導費の中の臨床心理士報償とスクールソーシャルワーカー報償についてお尋ねしたい。現在週に何日程度、どうゆう形で配置されているのか。

**答** 臨床心理士は、教育心理相談員として2名配置し、うち1人は週1回7時間、保育所、幼稚園、小学校、中学校に出向いて相談を受けている。もう1名は、週1回5時間、ふれ愛センターで生徒、児童、教職員、保護者を対象に相談を受けている。

スクールソーシャルワーカーは、年間で40日、1日6時間配置している。もともと大阪府から年間20日間配置されていた事業に、町が単独費用で20日間追加したものである。

**問** 小学校にも、家庭での児童虐待や不登校などで学校に行けない子どもさんがおられる。やはり週1日の配置では少ないのでは。また、相談を必要としている子どもをどうやって察知し、相談につなげ、対応しているのか。

**答** 単にスクールソーシャルワーカーや心理相談員だけが物事に当たるのではなくて、最前線に立っている教育委員会や教職員が生徒児童がかかえる問題をしっかりと受けとめる体制をとっていく。また、日ごろから接している我々が、複雑、多様化している保護者ニーズにどう対応していくかの課題意識を持ちつつ進んでまいりたい。

**賛成討論** 平成30年度は、りんくうポート北広場の整備事業が進んだ。海沿いの防災体育館を白紙にしたうえで、住民参加のワークショップ方式で進められたものであって評価できる。また、幼保の給食・保育料の無償化を国に先んじて前倒しで実施したことは、住民の皆さんも喜んでることだと思う。ただし、栗山町長の公約である小学校卒業までのインフルエンザ予防接種の無料化は、時期尚早として未実施であり、残念である。

防災行政無線放送の住宅内「戸別受信機」の無償貸与を求める請願への対応と、加えて、コミュニティバス導入にあたって議論した福祉タクシーへの助成制度の実施を求め、当初予算にも賛成した立場から、決算認定に賛成する。

◎平成30年度田尻町国民健康保険特別会計（事業勘定）決算認定の件

【賛成7、反対2で可決】

**問** 財政調整積立金の当初予算額が8万4,000円のところ、補正予算額5,013万円と巨額になった理由は何か。30年度決算の余剰金ということか。

**答** 29年度決算で出た黒字額と、その黒字額に対して30年度中に返還した国庫補助金の差引額である。

**反対討論** 国の制度に先駆けて大阪が国保の統一を決めたなか、田尻町は国保料の激変緩和を図るため独自の保険料を決めたことは評価できる。しかしながら、やはり町民さんからは、まだ国保料が高く生活が苦しいとの声がある。受診を控える事で症状が重症化したらかえって国保財政を圧迫する結果となることもふまえ、もっと町財政の黒字部分をあてがえて国保料を低く抑える努力をしていただきたい。

◎平成30年度田尻町後期高齢者医療特別会計決算認定の件

【全会一致で可決】

◎平成30年度田尻町介護保険特別会計決算認定の件

【賛成7、反対2で可決】

**問** 施設給付費の不正請求について105万円返納されたとあるが、どういう内容であったか。

**答** 介護事業所からの請求で、加算を不正に取っていたというものであった。泉佐野市の広域福祉課の方で事業所の指導をしており、その指導の中で不正がわかった。今後も各事業をを回って不正請求等がないよう指導していただいている。

**反対討論** 介護予防ポイントや介護予防教室等、町も町民さんともに、保険料を安くするために努力されている点は評価するが、府下で2番目に保険料が高く、他団体で行っているような軽減制度などもない。これから高齢者がとんどん増えていき、どうしても保険料が上がっていくのが目に見える。やはり少しでも一般会計の予算を使って町民さんの負担を軽減していただきたい。

◎平成30年度田尻町下水道事業特別会計決算認定の件

【全会一致で可決】

**問** 中央ポンプ場の長寿命化対策工事委託料7,976万円は、どういう工事でのどのような効果があるのか。端的にいうと何年ぐらい長寿命化するのか。

**答** 通常、標準耐用年数を過ぎれば全て更新することになるが、部分改修等を小まめに行うことで、一度に全てを交換しなくて済むようにしている。

◎平成30年度田尻町水道事業会計決算認定の件

【全会一致で可決】



# 令和元年度大阪府町村議会議員セミナー

7月29日(月)、シティプラザ大阪において令和元年度大阪府町村議会議員セミナーが開催されました。講演のテーマは『位置情報×ビッグデータで切り拓く我がまちの未来～2018年大阪北部地震を振り返りながら～』。人の動きなどをビッグデータとして捉え、AIの技術を取り入れて有益な情報として活用するというもので、田尻町議会議員も含め、大阪府内の町村議会議員が多数参加しました。



講師 株式会社Agoop  
代表取締役社長 兼 CEO  
柴山 和久 氏

講演を聴き、医療、福祉、防災、観光等あらゆる分野において利用の可能性のある技術だと感じました。町の施策にも何か有効に活用できないか、しっかりと提案できるように、これからも勉強してまいります。

## 審議結果

意見が分かれた議案名	審議結果	仁部 順行	金田 裕治	吉開 育子	小川 雄司	東 小夜子	中川 達夫	大門 久恭	原 明美	射場 隆裕	坂口 実
田尻町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例一部改正の件	原案可決	○	○	×	×	○	○	議	○	○	○
平成30年度田尻町国民健康保険特別会計(事業勘定)決算認定の件	原案可決	○	○	×	×	○	○	議	○	○	○
平成30年度田尻町介護保険特別会計決算認定の件	原案可決	○	○	×	×	○	○	議	○	○	○

○…賛成    ×…反対    議…議長のため賛否なし

## 令和元年12月議会の日程 (傍聴可能なもの)

- |                          |                           |
|--------------------------|---------------------------|
| 5日(木) 本会議 (開会日)          | 11日(水) 委員会予備費             |
| 6日(金) 本会議 (第2日)          | 19日(木) 本会議 (閉会日)          |
| ※5日(木) に審議が終了しなかった場合のみ開催 | 20日(金) 本会議 (閉会日) 予備日      |
| 9日(月) 総務建設常任委員会          | ※19日(木) に審議が終了しなかった場合のみ開催 |
| 10日(火) 文教厚生常任委員会         |                           |

上記日程は、現時点での予定です。 ※一般質問は閉会日(19日)に行います。

いずれも午前10時から本庁舎3階 議場にて開催します。ぜひ傍聴におこしください。

# 吉見ポンプ場の 浸水対策調査の報告

災害対策特別委員会 委員長  
坂口 実

まずは、全国各地に甚大な被害を及ぼした台風19号により、お亡くなりになられた方々へのご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された方々へお見舞いを申し上げます。併せて、一日も早い復旧復興をお祈り申し上げます。

この台風19号による、河川の決壊や越水は、田尻町においても他人ごとではありません。

数十年に一度の最悪の規模が想定される場合出される、大雨特別警報が、日本のあちらこちらで幾度となく発表されました。本町も、昨年9月の災害を忘れてはいけません。

そこで、田尻町議会災害対策特別委員会では、本町の浸水対策を調査すべく、9月25日に田尻・泉南沿岸吉見ポンプ場を訪れ、担当課より施設の説明を受け、もって田尻の浸水対策の現状について視察を行いました。

吉見ポンプ場は、敷地面積4210㎡地上地下を合せ30m以上に及ぶ建屋に雨水と汚水を分離し処理します。下水道計画図にある泉佐野市、泉南市分を含め、雨水は施設横の大阪湾へ8.654㎡/秒で放流できます。生活排水である汚水は、0.171㎡/秒で貝塚市の処理施設へ圧送しています。なお、嘉



担当職員から施設の説明を受けました。

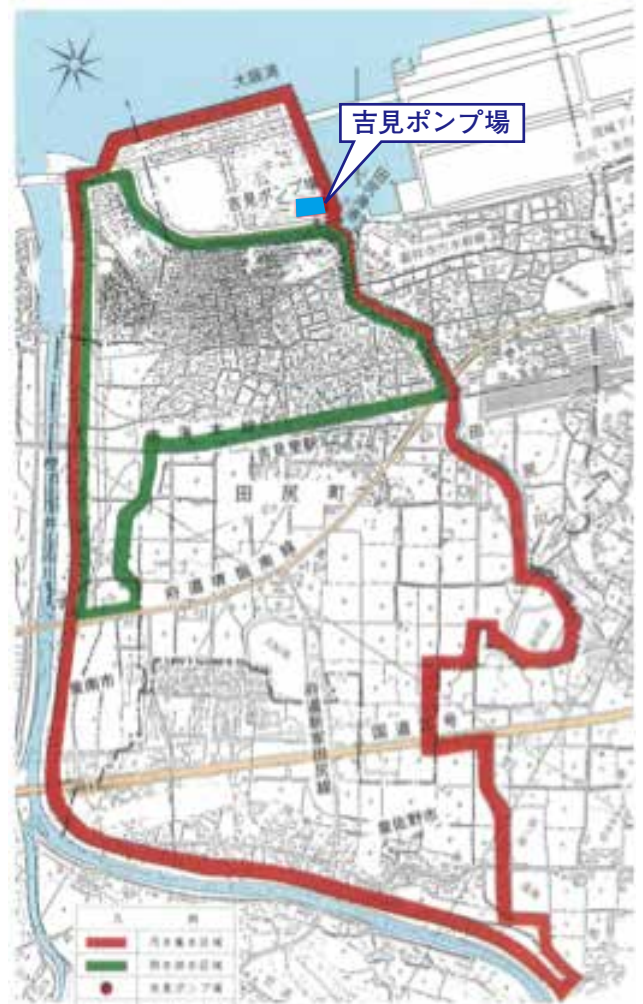


田尻町公共下水道 吉見ポンプ場

祥寺地区、りんくうポート地区は、泉佐野市の空港連絡袂にある泉佐野・田尻沿岸中央ポンプ場で処理されます。記憶に新しい嘉祥寺地区の内水氾濫は、泉佐野市内にある中央ポンプ場の雨水処理能力を超えたものであります。

各種の災害を想定した計画やマップ等の再検証や多方面に及ぶ田尻町にあった災害対策を、独立した住民代表組織である議会・議員が一丸となり、今後も継続して取組んで参ります。

## 吉見ポンプ場下水道計画図



吉見ポンプ場では、**赤**線内の汚水の集水と、**緑**線内の雨水の排水を行っています。